

自然観察 NOW

NO : 46

野幌森林公園自然情報

発行 : 2020年4月16日

北海道ボランティア・レンジャー協議会

ホームページ <http://voluran.com/>



今日の水バショウは雌性期かな、雄性期かな



雌性期



雄雌期

両性花

一つの花に雌しべと雄しべを持つ花を両性花といいます。

自分の花粉で受粉するのを避けるために水バショウは雌しべが雄しべより先に熟する仕組みをもっています。(雌性先熟) ゲンノショウコは雄しべが先に熟します。(雄性先熟)

肉穂花序(ニクスイカジョ) ミズバショウは、花軸が多肉になり、それに小さい花が沢山付いて

います。それを大きな総苞(仏炎苞)が包んでいます。雪解けと共に湿原を彩る清楚な白の仏炎苞は、尾瀬の景色を歌った「夏の思い出」の歌詞にも取り上げられています。

雌性期の雌しべは目立ちません。これが雌しべかという感じです。雌性期が終わると花粉がわき出るようになってきます。雄性期です。清らかな水の青さをバックに、清楚な仏炎苞の白、黄色した雄しべ。春の訪れをいち早く感じさせてくれるミズバショウです

ザゼンソウ

葉が出る前に、肉穂花序と暗紫褐色の仏炎苞の姿が見られます。花序を仏像に、その背後にある火炎形の光背に見えることから名付けられました。受粉のために虫を集める仕組みをもっています。英語でスカンクキャベツ、虫を寄せるためでしょう、悪臭があります。ザゼンソウは発熱作用をもっています。苞の中は外気より温度が高いです。



ザゼンソウ 雄性期

ニリンソウのこと

ニリンソウは変異が多いな

2014年5月11日の観察会の話

大沢園地からのカツラコースは、ミドリニリンソウなど様々な花卉のニリンソウが見られます。この日も観察会参加者は沢山のニリンソウを見つけました。「ミドリニリンソウは、先祖返りだよ。」とか「ニリンソウは変異が多いね。」という対応をしていました。

ミドリニリンソウは、ニリンソウの品種

北海道維管束植物目録から

キンポウゲ科イチリンソウ属 (*Anemone* アネモネ)



- ・ニリンソウ *Anemone flaccida* F.Schmidt
- ・ミドリニリンソウ *Anemone flaccida* f. *viridis* Tatew

学名は、属名・種名・命名者の順で書きます。
種の下位に亜種・変種があり、その下位に品種・園芸種があります。

学名では、種名の続きに省略された次の文字で、亜種や品種を表しています。

- ・亜種 **ssp** または **ssp** ・変種 **var**
- ・品種 **f** 品種は、ラテン語 **forma** (フォルマ)
英語 **form** (フォーム) 省略形 **f**

ヤエザキニリンソウ・ウスベニニリンソウもニリンソウの品種

- ・ヤエザキニリンソウ *Anemone flaccida* f. *pleniflora* Honda
八重咲き、タイプ標本は藻岩山で採取
- ・ウスベニニリンソウ *Anemone flaccida* f. *rosea* Hayashi

※学名に品種の省略形「f」が書かれています。

2014年5月11日、野幌の森の観察会で私の班の参加者は、薄紅色の花弁、八重咲きの花弁のニリンソウを見つけていました。私は、ニリンソウは変異が多いねと、答えるのが常でした。今春からは、「ミドリニリンソウ・ヤエザキニリンソウ・ウスベニニリンソウと説明することにしよう。」

梅沢俊氏は、「北の花つれづれに」で次のように述べています。「ミドリニリンソウとって一種の先祖帰りと考えられています。もともとニリンソウの白い花弁に見えるものは萼片、その元をたどれば葉っぱということになり、緑色に戻っても不思議ではありません。

注意して観察するとさまざまなタイプの花があっっておもしろいものです。縁が白いもの、八重咲きのもの、萼片に切れ込みのあるものなど…。

数年前、ダムの湖底に沈む運命にあった株を、かわいそうになって移植したことがあります。翌年どんな花をつけているか楽しみにしていたところ、何と普通のニリンソウに戻っていたのです。遺伝的にはかなり不安定な形質なのでしょう。」 (共同文化社刊、p 72より引用)

文責：春日 順雄